



JASDAQ

平成 23 年 6 月 3 日

各 位

会社名 日進工具株式会社
代表者名 代表取締役社長 後藤 勇
(コード 6157 JASDAQ スタンダード)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 田島 寛
電話 03-3763-5672

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 6 月 3 日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当による自己株式の処分を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 処分要領

(1) 処 分 期 日	平成 23 年 6 月 20 日
(2) 処 分 株 式 数	24,300 株
(3) 処 分 価 額	1 株につき 2,256 円
(4) 資 金 調 達 の 額	54,820,800 円
(5) 募 集 又 は 処 分 方 法	第三者割当による処分
(6) 処 分 先	牧野 守雄
(7) そ の 他	該当事項はありません。

2. 処分の目的及び理由

当社は平成 23 年 4 月 1 日付にて、株式会社牧野工業の全株式を、同社代表取締役社長牧野守雄氏より取得し、同社を完全子会社といたしました。同社は、工具ケースを中心とした各種プラスチック製品の企画、デザインから製造、販売までを金型も含め一貫して手がけ、長年に亘り堅実な経営を行っております。

当社グループでは、主力製品である超硬エンドミルの開発・販売戦略の一環として、周辺技術の構築に注力してまいりましたが、今回の子会社化により、同社の持つプラスチック成形や金型加工に関する技術・ノウハウが、今後の当社グループの製品開発や販売戦略に大きく貢献することが期待されます。加えて、新たなプラスチック製品の開発など、当社グループの事業領域拡大にもつながるものと考えております。

同社代表取締役社長である牧野守雄氏は、創業以来、経営面ではもちろんのこと、新製品の企画・開発においても中心的な役割を果たし、今後の同社の事業展開において極めて重要な存在であると認識しております。従いまして、当社の完全子会社となりました後も、株式会社牧野工業の代表取締役社長として引き続き経営に尽力いただくとともに、株主として利害関係を共有化することで、グループ経営への参画意識をより高め、企業価値の向上につなげることを目的として、同氏に対して当社株式を割当てるものであります。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

差引手取概算額 54,820,800 円

(2) 調達する資金の具体的な使途

自己株式の処分により調達する資金については、平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）における、工具研削盤等生産設備に係る設備投資約 680 百万円の一部に充当します。なお、差引手取概算額と上記金額との差額は自己資金を充当する予定です。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
工具研削盤等生産設備に係る設備投資	680	平成 23 年 6 月～12 月

4. 資金使途の合理性に関する考え方

この第三者割当による自己株式処分は、子会社の代表取締役社長が株主として利害関係を共有化することで、グループ経営への参画意識をより高め、企業価値の向上につなげることを目的とするものです。

自己株式処分により調達する資金については、生産量の拡大及び生産性向上のための設備投資の一部に充当することを予定しており、当社の業務運営と今後の成長に資するものであり、合理性があるものと考えています。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、恣意性を排除した価額とするため当該処分にかかる取締役会決議の直前の 6 ヶ月間（平成 22 年 12 月 3 日～平成 23 年 6 月 2 日）の株式会社大阪証券取引所ジャスダック市場における当社株式の終値の平均値（円未満切捨）2,256 円といたしました。

直前 6 ヶ月間の当社株式の終値の平均値を採用することにしたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高いと判断したためであります。特に今回の場合におきましては、本年 3 月 11 日に発生いたしました東日本大震災の影響により、株式市場が短期的に大きく変動しましたことから、当社の企業価値を計るにあたっては、震災前の期間も含めた長期の平均株価を採用することが合理的であると判断し、直前 6 ヶ月間の平均株価を採用いたしました。

ご参考までに決議の前日となります平成 23 年 6 月 2 日の終値は 1,965 円、1 ヶ月間（平成 23 年 5 月 3 日～6 月 2 日）の終値の平均値（円未満切捨）は 1,976 円、3 ヶ月間（平成 23 年 3 月 3 日～6 月 2 日）の終値の平均値（円未満切捨）は 2,070 円となっております。

なお、取締役会に出席した監査役 4 名（うち社外監査役 2 名）全員が、上記処分価額につきましては、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準とし、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、当社の直近の財政状態及び経営成績等を勘案し、適正かつ妥当であり、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当による自己株式の処分株式数 24,300 株は、現在の当社の発行済株式総数 1,563,000 株に対する割合が 1.55%、また議決権総数 15,382 個に対する割合が 1.58%と小規模なものであるため、株式の希薄化及び流通市場への影響は軽微なものであると考えております。

また本件第三者割当は、子会社代表取締役社長として、当社グループにおける経営責任を明確にさせていただくことを目的としており、今後の当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。

従いまして、処分数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 処分先の選定理由等

(1) 処分先の概要

① 氏名	牧野 守雄
② 住所	千葉県松戸市
③ 上場会社と当該個人の関係	当該個人は本年4月1日付にて当社の完全子会社といたしました株式会社牧野工業の代表取締役社長であります。

※ 当該処分先は、従来から取引関係のあった株式会社牧野工業の代表取締役社長であり、20年来の取引関係等により当社が認識している情報において、同氏及び同氏が代表取締役社長を務める株式会社牧野工業が暴力団等の反社会的勢力と何らかの関係を持っている事実は一切無いものと判断しております。

なお、当社は当該処分先へのヒアリングにより、当該処分先が反社会的勢力とは一切関係がないことを確認しており、その旨の確認書を株式会社大阪証券取引所に提出しています。

(2) 処分先を選定した理由

当社は平成23年4月1日付にて、株式会社牧野工業の全株式を、同社代表取締役社長牧野守雄氏より取得し、同社を完全子会社といたしました。同社は、工具ケースを中心とした各種プラスチック製品の企画、デザインから製造、販売までを金型も含め一貫して手がけ、長年に亘り堅実な経営を行っております。

当社グループでは、主力製品である超硬エンドミルの開発・販売戦略の一環として、周辺技術の構築に注力してまいりましたが、今回の子会社化により、同社の持つプラスチック成形や金型加工に関する技術・ノウハウが、今後の当社グループの製品開発や販売戦略に大きく貢献することが期待されます。加えて、新たなプラスチック製品の開発など、当社グループの事業領域拡大にもつながるものと考えております。

同社代表取締役社長である牧野守雄氏は、創業以来、経営面ではもちろんのこと、新製品の企画・開発においても中心的な役割を果たし、今後の同社の事業展開において極めて重要な存在であると認識しております。従いまして、当社の完全子会社となりました後も、株式会社牧野工業の代表取締役社長として引き続き経営に尽力いただくとともに、株主として利害関係を共有化することで、グループ経営への参画意識をより高め、企業価値の向上につなげることを目的として、同氏に対して当社株式を割当てるものであります。

(3) 処分先の保有方針

当社は、牧野守雄氏からは、本件第三者割当により取得する株式の保有方針について、子会社代表取締役社長として、当社グループにおける経営責任を明確にするとの目的から、長期的に継続して保有する意向であることを確認しております。また、当社は牧野守雄氏に対して、本件第三者割当の期日（平成23年6月20日）から2年間において、同氏が本件第三者割当にて取得した当社株式の全部又は一部を譲渡した場合には、譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由、譲渡の方法等を直ちに当社に書面にて報告すること、及び当社が当該報告内容等を大阪証券取引所に報告し、当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意する旨の確約書を依頼する予定であり、内諾を得ています。

(4) 処分先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、処分先の牧野守雄氏による最新の預金残高を証する書面（平成23年5月25日現在）の提示を受け、本件第三者割当の払込に要する資金を上回る十分な現預金を有していることを確認しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（平成23年3月31日現在）		処 分 後	
後藤 勇	19.88%	後藤 勇	19.88%
後藤 弘治	17.15%	後藤 弘治	17.15%
後藤 隆司	17.15%	後藤 隆司	17.15%
メロンバンクエヌエートリーティークライアントオムニバス（常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行）	8.00%	メロンバンクエヌエートリーティークライアントオムニバス（常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行）	8.00%
日進工具従業員持株会	2.20%	日進工具従業員持株会	2.20%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1.79%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1.79%
日進工具株式会社	1.55%	牧野 守雄	1.55%
エイチエスピーシーファンドサービスズスパークスアセットマネジメントコーポレイテッド（常任代理人 香港上海銀行東京支店）	1.49%	エイチエスピーシーファンドサービスズスパークスアセットマネジメントコーポレイテッド（常任代理人 香港上海銀行東京支店）	1.49%
瀬貫 幹雄	0.99%	瀬貫 幹雄	0.99%
足立 有子	0.86%	足立 有子	0.86%

8. 今後の見通し

今回の自己株式処分による平成24年3月期連結業績への影響は軽微であると予想しております。

（企業行動規範上の手続きに関する事項）

本件第三者割当は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、大阪証券取引所の定める企業行動規範に関する規則第2条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

（1）最近3年間の業績（連結）

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
連結売上高	5,251百万円	3,857百万円	4,977百万円
連結営業利益	1,014百万円	261百万円	794百万円
連結経常利益	1,052百万円	361百万円	834百万円
連結当期純利益	598百万円	242百万円	426百万円
1株当たり連結当期純利益	388.84円	157.62円	277.50円
1株当たり配当金	70.0円	30.0円	50.0円
1株当たり連結純資産	3,671.43円	3,759.05円	4,006.55円

（2）現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成23年3月31日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	1,563,000株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0株	0%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0株	0%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0株	0%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
始 値	3,520 円	1,975 円	2,180 円
高 値	4,090 円	2,600 円	2,810 円
安 値	1,810 円	1,712 円	1,660 円
終 値	1,975 円	2,200 円	2,070 円

② 最近6か月間の状況

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
始 値	2,040 円	2,460 円	2,500 円	2,680 円	2,120 円	2,060 円
高 値	2,470 円	2,610 円	2,790 円	2,700 円	2,120 円	2,095 円
安 値	1,990 円	2,410 円	2,450 円	1,660 円	1,950 円	1,855 円
終 値	2,465 円	2,600 円	2,600 円	2,070 円	1,980 円	2,000 円

③ 発行決議日前日における株価

	平成23年6月2日
始 値	1,999 円
高 値	1,999 円
安 値	1,965 円
終 値	1,965 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

10. 処分要項

(1) 処 分 期 日	平成23年6月20日
(2) 処 分 株 式 数	24,300 株
(3) 処 分 価 額	1株につき2,256円
(4) 資 金 調 達 の 額	54,820,800 円
(5) 募 集 又 は 処 分 方 法	第三者割当による処分
(6) 処 分 先	牧野 守雄
(7) そ の 他	該当事項はありません。

以 上